

## 仙台医療センター建替等整備計画に係る 工事中における事後調査計画について

平成 29 年 3 月

独立行政法人 国立病院機構  
仙 台 医 療 セ ン タ 一

## 1. はじめに

現病院は、平成 23 年に発生した東日本大震災により建物に大きな被害が生じたため、最小限の応急処置として、外壁・内壁の亀裂補修を中心とした災害復旧を行った。このような状況下、基幹災害拠点病院として大災害発生時にも機能を維持し、入院患者の治療及び生命を守るために災害医療に当たるためには、災害に強い安全な建物を 1 日も早く整備する必要がある。さらに、基幹災害拠点病院として宮城県広域防災拠点の一翼を担い地域ニーズに応える必要がある。

以上のことから、現病院の南側の敷地に、病床規模 660 床を含む延床面積 61,013 m<sup>2</sup>の新病院として建替えを行うとともに、ドクターヘリ運航のためのヘリポート及び格納庫を整備することとなった。

本事業については、平成 25 年 11 月より環境影響評価手続きに着手し、平成 27 年 1 月に環境影響評価書を提出したところであるが、施工業者が決定し施工計画が具体化したことにより、下表のとおり工事着手時期及び工事期間の変更を行った（平成 28 年 7 月仙台市環境影響評価審査会にて報告済み）。

このたび、詳細な工事工程が明らかになったことから、工事工程に合わせて変更した工事中の事後調査スケジュールについて報告する。

なお、工事の内容等に変更はないことから、調査項目、調査方法、調査地域等についての変更はない。

表-1 事業工程の変更内容

事業工程	評価書作成時（変更前）	現計画（変更後）
工事着手時期	平成 26 年度第 4 四半期	・ドクターヘリ：平成 28 年 1 月 ・病院本体：平成 28 年 4 月準備工 同年 6 月 17 日起工式
工事期間	約 2 年	約 3 年 4 ヶ月

## 2. 工事中の事後調査スケジュールについて（別表 1, 2 参照）

工事工程や重機稼働台数及び工事用車両台数のピーク時期の変更に伴い、工事中の事後調査時期について、以下のとおり変更とする。

表-2 工事中の事後調査時期

環境影響要因	変更する事項		調査項目
	評価書作成時（変更前）	現計画（変更後）	
重機の稼働	平成 27 年 2 月 (ピーク日稼働台数：31 台/日)	平成 29 年 1 月 (ピーク日稼働台数：17 台/日)	大気質、騒音、振動
資材等の運搬	平成 27 年 5 月 (ピーク日車両台数：360 台/日)	平成 30 年 10 月 (ピーク日車両台数：334 台/日)	大気質、騒音、振動、自然との触れ合いの場
工事による 影響全般	平成 26 年度第 4 四半期～ 平成 28 年度第 4 四半期	平成 28 年 1 月～ 平成 31 年度第 1 四半期	水象（地下水）、地盤沈下、動物（鳥類）、廃棄物等、温室効果ガス等、環境保全措置の実施状況

### 【別 紙】

別表 1 事後調査スケジュール（変更後）

別表 2 事後調査スケジュール（評価書より抜粋）

以 上

別表1：事後調査スケジュール(変更後)

	調査項目	調査方法	調査地域等		調査期間等	
			調査地域等	調査地點		
大気質	・資材等の運搬 ・重機の稼働 ・資材等の運搬及び重機の稼働(重ね合わせ)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠 NO <sub>2</sub> : 公定法及び簡易法 SPM: 公定法 ・走行台数、走行経路	・計画地から500mの範囲	・公定法(NO <sub>2</sub> , SPM): 1地点 地点2: 宮城野区宮城野2丁目地内 ・簡易法(NO <sub>2</sub> ): 3地点 地点1: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点2: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点3: 宮城野区萩野町4丁目地内 ・走行台数、走行経路: 工事用車両出入口 または計画地内	・工事用車両の走行台数が最大となる月 平成30年10月 ・1回×7日間(168時間)連続	
	・重機の稼働に係る 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) 浮遊粒子状物質(SPM) 気象(風向・風速)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠 NO <sub>2</sub> : 公定法及び簡易法 SPM: 公定法	・計画地から500mの範囲	・公定法(NO <sub>2</sub> , SPM): 1地点 地点A: 保全対象 ・簡易法(NO <sub>2</sub> ): 2地点 地点A: 保全対象 地点B: 最大着地濃度出現地点	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・1回×7日間(168時間)連続	
	・資材等の運搬及び重機の稼働に係る 二酸化窒素(NO <sub>2</sub> ) 浮遊粒子状物質(SPM) 気象(風向・風速)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠 NO <sub>2</sub> : 公定法及び簡易法 SPM: 公定法	・計画地から500mの範囲	・公定法(NO <sub>2</sub> , SPM): 1地点 地点A: 保全対象 ・簡易法(NO <sub>2</sub> ): 2地点 地点A: 保全対象 地点2: 宮城野区宮城野2丁目地内	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・1回×7日間(168時間)連続	
騒音	・資材等の運搬 ・重機の稼働 ・資材等の運搬及び重機の稼働(重ね合わせ)	・資材等の運搬に係る騒音レベル( $L_{Aeq}$ ) ・交通量	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠	・計画地から200mの範囲	・工事用車両の走行台数が最大となる月 平成30年10月 ・平日24時間連続	
	・走行台数、走行経路	・工事記録の確認、必要に応じてヒアリング調査		・3地点 地点1: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点2: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点3: 宮城野区萩野町4丁目地内 ・走行台数、走行経路: 工事用車両出入口 または計画地内	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・平日8時～18時	
	・重機の稼働に係る騒音レベル( $L_{A5}$ )	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠	・計画地から200mの範囲	・3地点 地点A: 仙台育英高校 地点B: 現病院 地点C: 最大騒音レベル地点	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・平日8時～18時	
振動	・資材等の運搬 ・重機の稼働 ・資材等の運搬及び重機の稼働(重ね合わせ)	・資材等の運搬及び重機の稼働係る 騒音レベル(重ね合わせ)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠	・計画地から200mの範囲	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・平日8時～18時	
	・走行台数、走行経路	・工事記録の確認、必要に応じてヒアリング調査		・3地点 地点1: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点2: 宮城野区宮城野2丁目地内 地点3: 宮城野区萩野町4丁目地内 ・走行台数、走行経路: 工事用車両出入口 または計画地内	・工事用車両の走行台数が最大となる月 平成30年10月 ・平日24時間連続	
	・重機の稼働に係る振動レベル( $L_{10}$ )	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠	・計画地から200mの範囲	・3地点 地点A: 仙台育英高校 地点B: 現病院 地点C: 最大騒音レベル地点	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・平日8時～18時	
地下水象	・資材等の運搬 ・重機の稼働 ・資材等の運搬及び重機の稼働(重ね合わせ)	・資材等の運搬及び重機の稼働係る 振動レベル(重ね合わせ)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠	・計画地から200mの範囲	・重機の稼働台数が最大となる月 平成29年1月 ・平日8時～18時	
	・掘削及び建築物の建築	・掘削及び建築物の建築による地下水位の変化	・地下水位観測結果及び設計図書の整理	・計画地	・計画地内3地点	・工事期間前及び工事期間全体
	・掘削	・掘削による沈下量の変化	・水準測量の結果及び設計図書の整理	・計画地		・工事期間前は、平成28年8月 ・工事中は、掘削工事後 平成29年3月
△動物	・建築物の建築	・建築物の建築による動物相および注目すべき種の変化(鳥類)	・環境影響評価書の現地調査の方法に準拠 (春季・夏季は夜間調査も実施)	・計画地から200mの範囲	・3地点 ①計画地内 ②櫛岡公園 ③国分寺跡	・工事中、工事用車両及び重機の稼働のピークを含む 春季・夏季・秋季・冬季の4季 (平成29年1月, 4月, 7月, 10月)
△自然 いとの 場触 れ合	・資材等の運搬、重機の稼働及び掘削	・資材等の運搬、重機の稼働及び掘削による 自然との触れ合いの場の状況の変化	・現地調査により利用者の属性、利用内容、利用 範囲又は場所、利用の多い範囲を写真撮影等 により視覚的に把握 ・2時間おきにカウント調査を実施し、利用者数を 把握	・計画地から500mの範囲	・7地点 ①宮城野原公園 ②櫛岡公園 ③五輪ちびっこ広場 ④宮城野八幡神社 ⑤南宮城野公園 ⑥五輪一丁目公園 ⑦宮城野町	・工事用車両の走行台数が最大となる月 平成30年10月
△廃棄 物等	・掘削及び建築物の建築	・切土・盛土・掘削等による廃棄物、残土の発生量 及び削減状況 ・建築物の建築による廃棄物の発生量及び 削減状況	・工事記録の確認ならびに必要に応じてヒアリング 調査を実施	・計画地		・工事期間全体
△温室 効果	・資材等の運搬、重機稼働及び建築物の建築	・資材等の運搬、重機稼働及び建築物の建築 における二酸化炭素及び他の温室効果ガス の発生量、省エネルギー対策等による削減量	・軽油・ガソリン等の液体燃料使用量等について ヒアリング調査を実施し、その結果に基づき 二酸化炭素の排出量を推定	・計画地		・工事期間全体
△全 項目	・工事の実施に係る 環境保全措置の実施状況	・環境保全措置の実施状況の整理	・実施状況の記録を整理 ・必要に応じてヒアリング調査を実施	・計画地		・工事期間全体
△事後調査報告書の作成 (工事中)		—	—	—	—	・工事用車両及び建設機械のピーク時における 大気質・騒音・振動・動物、自然とのふれあいの場 に係る調査が終了した後

現在

\*調査項目、調査方法、調査地域等については、評価書時からの変更はない。

別表2：事後調査スケジュール(評価書より抜粋)

■事業工程						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
工事期間						
整地工事			■			
土工事		■	■			
基礎・躯体工事		■	■			
免震装置据付工事			■			
地上鉄骨工事			■	■		
地上躯体工事			■	■		
外装工事			■	■		
仕上工事			■	■		
外構工事				■		
検査				■		
開院準備				■		
開院				■		
■事後調査(工事中)						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
大気質：資材等の運搬			■			
大気質：重機の稼動		■				
騒音：資材等の運搬		■				
騒音：重機の稼動		■				
振動：資材等の運搬		■				
振動：重機の稼動		■				
水象(地下水)：切土・盛土・発破・掘削等、建築物等の建築		■	■	■	■	
地盤沈下：切土・盛土・発破・掘削等		■	■	■		
動物：建築物等の建築		■	■	■		
自然との触れ合いの場：資材等の運搬、重機の稼動、掘削等		■	■			
廃棄物等：切土・盛土・発破・掘削等、建築物等の建築		■	■	■		
温室効果ガス等：建築物等の建築、資材等の運搬、重機の稼動		■	■	■		
事後調査報告書の作成(工事中)			■			
■事後調査(存在・供用後)						
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
大気質：施設の稼動(病院・駐車場)						
大気質：資材・製品・人等の運搬・搬出						
大気質：有害物質の使用					■	■
大気質：その他(感染性)					■	■
騒音：施設の稼動(ヘリコプター)						
騒音：施設の稼動(病院・駐車場)						
騒音：資材・製品・人等の運搬・搬出						
振動：資材・製品・人等の運搬・搬出						
低周波音：施設の稼動(ヘリコプター)						
水質：有害物質の使用					■	■
水質：その他(感染性)					■	■
水象(地下水)：工作物の出現、施設の稼動(病院)				■	■	■
水循環				■		
地形・地質：工作物の出現		■	■	■	■	■
地盤沈下：工作物の出現、施設の稼動(病院)					■	■
電波障害：工作物の出現						
日照障害：工作物の出現						
風害：工作物の出現					■	■
植物：その他(緑の量)					■	■
動物：工作物等の出現					■	■
景観：工作物の出現				■	■	■
自然との触れ合いの場：資材・製品・人等の運搬・搬出					■	■
廃棄物等：施設の稼動(病院、宿舎等)					■	■
温室効果ガス等：施設の稼動、資材・製品・人等の運搬・搬出					■	■
事後調査報告書の作成(存在・供用後)						■

※地形・地質：工作物の出現は、水象(地下水)のデータを用いて整理する。